

# 三郷市の財務分析レッスンコーナー

今回は発売されたばかりの全国都市財政年報（全国 782 都市・23 特別区の詳細な財政データ本）をもとに、三郷市の財政を総括的に分析してみましょう。

分かりやすく **Q** & **A** 方式にしてみました。



## < 三郷市 >

人件費割合	26.12%	全国都市中	709 位
福祉（民生）費割合	31.58%	全国都市中	121 位
普通建設事業費割合	8.74%	全国都市中	646 位
教育費割合	10.66%	全国都市中	414 位
実質将来負担比率	232.15	全国都市中	621 位

**Q** 三郷市の支出のうち、人件費割合が悪く 709 位です。市職員の数が多すぎるのですか？

**A** 三郷市の市職員の数は、おおよそ市民 130 人に対して市職員 1 人の割合となっています。これは全国平均を大幅に下回りで、近隣市と比べても下回っています。したがって、他市と比べる限り、三郷市の職員の数は多くはないのです。

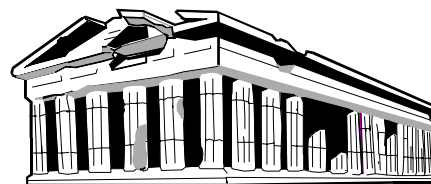
（参照 私のHP 平成 16 年夏号）

## コメント

他と比べるとこうなりますが、もちろん私は、正規職員数を引き続き削減すべきだと思っています。三郷市役所の業務は少数精鋭主義で行い、民間でできるものはできるだけ民間に任したほうが、より少ない税金でよりよい市民サービスができているからです。

**Q** それでは、市職員のお給料が高いのですか？

**A** 市職員の給料水準を表すラスパイレス指数は 94.8 と、埼玉県下の市 39 市中 34 番目の低さとなっています。したがって、他市と比べる限り、三郷市の職員の給料は高くはないのです。



**Q** では、なぜ三郷市は市職員に支払う人件費の割合が高いのですか？

**A** それは、三郷市は国からもらえる交付税・補助金が少なく三郷市自身の税収も少ないために、つまり全体の財源が乏しいために、市職員に多くの給料を支払っているように見えるのです。同じことは、以下の福祉費にも言えます。・・・右ページへ続く・・・

**Q** 三郷市は、福祉（民生）費の割合が、全国上位に位置（121位）していますが、本当にそうなんですか？

**A** 本当です。昔から三郷市は予算の多くを福祉に振り向けていたので、毎年、福祉費への支出割合は、全国的には上位入賞？が続いています。

**Q** それでも、他市と比べると福祉予算が多いと実感できないのですが？

**A** その大きな原因は、三郷市の財源の貧しさにあるのではないのでしょうか。少ない財源を優先的に福祉に振り分けていても、なお福祉にふりむける絶対額では他市に敵わない。特に東京都の市区には・・・。

（参照 私のHP 平成18年春号）



**Q** 普通建設事業費割合が全国646位と低いのですが、武蔵野操車場跡地、三郷中央駅周辺、三郷インターチェンジ周辺などの開発が目立つのに、どうしてですか？

**A** 武蔵野操車場跡地の開発は国（独立行政法人）や民間開発業者が行っています。三郷中央駅周辺開発は国（独立行政法人）が主体となっています。三郷インター周辺は土地所有者を中心とした組合施行となっています。いずれにしても、三郷市が直接行っている事業ではないので、三郷市の負担がかなり押さえられているのです。

**Q** 三郷市の税収を増やさないことには、根本的な解決にはならないと思いますが、どうしたらよいのですか？

**A** 借金だらけの国ですから、三郷市は国からもらえる交付税等の増額を期待してはいけません。三郷市自身で税収を稼ぐために努力しなくてはなりません。武蔵野操車場跡地・三郷中央駅周辺・三郷インターチェンジ周辺等の開発によって、最低20億円以上稼ぐよう（税収アップ）に努力しましょう。また、三郷市内に広大な用地を占める東京都や埼玉県の水浄場から固定資産税相当額を徴収できるように、国や埼玉県に働きかけましょう。

